

一般社団法人日本環境化学会

平成24年度定期社員総会

議 案 書

日時：平成24年6月18日（月） 午前10時30分～

場所：株式会社島津製作所 東京支社 会議室

総会次第

1. 開会挨拶 会長 森田昌敏
2. 議長選出
3. 議事録署名人の選出 議長及び会員より2名
4. 議案審議
 - 1号議案 平成23年度事業報告承認の件
 - 2号議案 平成24年度事業計画承認の件
5. その他報告
6. 閉会挨拶 副会長

第1号議案

平成23年度事業報告

1. 登録会員数（平成24年3月31日付）

個人会員	1013名
学生会員	23名
賛助会員	69団体
公益会員A	19団体
公益会員B	22団体
2. 総会
平成23年6月17日 島津製作所東京支社にて平成23年度定例総会を開催
3. 理事会
第1回理事会（平成23年4月18日）
第2回理事会（平成23年6月17日）
4. 評議員会・幹事会
第1回評議員会（平成23年5月20日）
第1回幹事会（平成23年5月20日）
第2回幹事会（平成24年1月16日）
5. 事務局
 - ・総会、理事会、評議員会、幹事会の開催
 - ・学会事務の総括運営
 - ・学会経理関係運営
 - ・平成23年8月1日事務所を移転
 - ・メールニュースの発刊
6. 企画部会
 - ・平成23年6月8日 第54回環境化学講演会「生物応答を利用した新しい排水管理手法について」開催。（科学技術館サイエンスホール 参加者110名）
 - ・平成24年2月24日 第55回環境化学講演会「水質公定分析法の見直しの背景と各種分析のポイント」開催。（タワーホール船堀 小ホール 参加者125名）
7. 編集部会
 - ・「環境化学」の発刊、第21巻第2号～第22巻第1号 発行部数各1200部
 - ・JSTのJ-stage3への移行に伴う投稿審査システムの更新
8. 情報部会
 - ・環境化学に関する情報収集ならびに会員への提供
 - ・会員への有料情報提供、およびホームページでの情報公開
9. 広報・渉外部会
 - ・広報活動、ホームページの移設と維持管理 <http://www.j-ec.or.jp/>
10. 表彰部会
 - ・2011年表彰式の挙行、及び2012年表彰者選考
11. 国際企画部会
 - ・海外交流事業について検討
12. 討論会実行委員会
 - ・第20回環境化学討論会（平成23年7月16～18日）熊本県立大学にて開催
演題数 401題、参加者 672名
 - ・第21回環境化学討論会実行委員会の活動開始
 - 第1回実行委員会 平成23年9月5日
 - 第2回実行委員会 平成23年10月13日
 - 第3回実行委員会 平成23年11月24日
 - 第4回実行委員会 平成24年2月15日
13. 選挙管理委員会
 - ・なし
14. SETAC委員会
 - ・SETAC Asia Pacific 2012 Meeting Kumamoto（平成24年9月23日～27日）の開催準備

平成23年度 収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日

一般社団法人 日本環境化学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異(決算-予算)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入				
個人会員会費収入	8,128,000	7,488,000	△ 640,000	
賛助会員会費収入	5,680,000	5,520,000	△ 160,000	
公益会員A会費収入	570,000	570,000	0	
公益会員B会費収入	440,000	440,000	0	
海外会員会費収入	36,000	36,000	0	
学生会員会費収入	110,000	85,000	△ 25,000	
② 事業収入				
学会誌売上収入	0	2,000	2,000	
学会誌別刷売上収入	400,000	451,000	51,000	
学会誌広告収入	1,360,000	1,200,000	△ 160,000	
既刊本売上収入	150,000	122,500	△ 27,500	
討論会収入	14,820,000	13,998,261	△ 821,739	
講演会参加費収入	800,000	1,845,000	1,045,000	
講演会予稿集広告・展示収入	790,000	530,000	△ 260,000	
講演会予稿集売上収入	48,000	160,000	112,000	
期末商品棚卸高		63,375	63,375	
③ 著作権収入				
FAX複写著作権収入	20,000	18,040	△ 1,960	独)科学技術振興機構
④ 雑収入				
受取利息収入	10,000	11,807	1,807	
その他雑収入	0	6,000	6,000	入金目的不明の為
事業活動収入計	33,362,000	32,546,983	△ 815,017	
2. 事業活動収支の部				
① 事業費支出				
学会誌刊行費支出	3,500,000	2,939,190	△ 560,810	
学会誌発送支出	550,000	483,660	△ 66,340	
学会誌刊行運営費支出	300,000	124,784	△ 175,216	
討論会支出	13,320,000	10,440,779	△ 2,879,221	
講演会印刷物支出	400,000	264,888	△ 135,112	
講演会通信運搬費支出	30,000	24,395	△ 5,605	
講演会運営費支出	250,000	587,805	337,805	
講演会謝金・旅費交通費支出	850,000	853,336	3,336	
講演会雑支出	70,000	60,580	△ 9,420	
期首商品棚卸高	0	241,920	241,920	
② 管理費支出				
消耗・備品費支出	700,000	610,495	△ 89,505	修繕関係・消耗備品含
通信運搬費支出	400,000	348,824	△ 51,176	
旅費交通費支出	900,000	803,255	△ 96,745	討論会熊本3名他
会議費支出	250,000	126,623	△ 123,377	
事務所費支出	1,750,000	1,389,083	△ 360,917	光熱費・火災保険含
印刷製本費支出	210,000	94,510	△ 115,490	封筒印刷
委託手数料支出	357,000	462,000	105,000	コンサルタント料・サーバ移設
雑支出	150,000	161,427	11,427	振込手数料含
表彰関係費支出	400,000	520,410	120,410	メダル・筆耕・懇親会招待
福利厚生費支出	20,000	21,240	1,240	
法定福利費支出	425,000	406,095	△ 18,905	社会保険料会社負担分
人件費支出	6,700,000	6,442,300	△ 257,700	
支払報酬支出	0	55,555	55,555	
租税公課支出	0	41,400	41,400	
慶弔費支出	0	21,000	21,000	
事務所移転費支出	0	611,418	611,418	仲介手数料含
事業活動支出計	31,532,000	28,136,972	△ 3,395,028	
事業活動収支差額	1,830,000	4,410,011	2,580,011	

II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出	18,000,000	0	△ 18,000,000	
投資活動支出合計	18,000,000	0	△ 18,000,000	事務所購入費・諸経費
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入合計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出合計	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 16,170,000	4,410,011	20,580,011	
前期繰越収支差額	25,077,794	25,077,794	0	
次期繰越収支差額	8,907,794	29,487,805	20,580,011	

会計監査の結果、上記について相違ないことを証します

平成 24 年 5 月 10 日

監事 横山 泰久 

監事 杉尾 賢一 

貸借対照表

平成24年3月31日現在

一般社団法人 日本環境化学会

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産の部)		(流動負債)	
現金	34,919	未払費用(未払給与・交通費含)	501,294
普通預金	814,552	預り金	52,432
郵便振替	6,222,354	前受金	3,957,000
定期預金	13,153,967		
郵便貯金	10,071,132		
商品	63,375		
未収入金	358,842		
前払費用	110,200		
仮払金	2,000,000		
流動資産合計	32,829,341	流動負債合計	4,510,726
(固定資産)		(正味財産の部)	
特定資産	905,190	一般正味財産	29,487,805
電話加入権	6,000		
敷金	258,000		
固定資産合計	1,169,190	正味財産合計	29,487,805
資産合計	33,998,531	負債及び正味財産合計	33,998,531

財産目録

平成24年3月31日現在

一般社団法人 日本環境化学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
現金		手元保管	運転資金として	34,919
郵便振替		郵便振替口座	運転資金として	6,222,354
普通預金		普通預金 常陽銀行研究学園都市支店	運転資金として	799,432
		普通預金 常陽銀行つくば並木支店	運転資金として(貸金庫費用)	15,120
定期預金		定期預金 常陽銀行研究学園都市支店	積立口	13,153,967
郵便貯金		定額郵便貯金 ゆうちょ銀行	積立口	10,000,000
		普通貯金 ゆうちょ銀行	積立口	71,132
未収入金			テキスト・講演会展示等	161,640
未収会費			定額預金 年度末計算利	7,202
			H23公益A会費	90,000
			H23公益B会費	100,000
前払費用			出張旅費・火災保険料	110,200
仮払金			討論会運転資金	2,000,000
商品			講演会テキスト在庫他	63,375
流動資産合計				32,829,341
(固定資産)				
特定資産	公開セミナー準備資産	普通預金 常陽銀行研究学園都市支店	公開セミナー準備金	905,190
その他固定資産	電話加入権 敷金		3回線 事務局	6,000 258,000
固定資産合計				1,169,190
資産合計				33,998,531
(流動負債)				
	未払給与 未払交通費 未払費用		給与 交通・通勤費 通信運搬費 事務用品費 法定福利費会社負担分 法定福利費個人負担分 源泉所得税 H24年会費年度会費	422,000 21,490 2,480 27,702 27,622 27,362 25,070 3,957,000
	預り金			
	前受金			
流動負債合計				4,510,726
負債合計				4,510,726
正味財産				29,487,805

第2号議案

平成24年度事業計画(案)

1. 登録会員数（平成24年度4月1日現在）

個人会員	936名
学生会員	31名
賛助会員	68団体
公益会員A	18団体
公益会員B	22団体
2. 総会
平成24年6月18日(月)島津製作所東京支社にて平成24年度定例総会を開催予定
3. 理事会
第1回理事会（平成24年4月16日）
第2回理事会（平成25年1月予定）
4. 評議員会・幹事会
平成25年1月開催予定
5. 事務局
 - ・総会、理事会、評議員会、幹事会の開催
 - ・学会事務の総括運営
 - ・学会経理関係運営
6. 企画部会
 - ・講演会の開催
 - ・各分科会の開催
 - ・公開セミナーと高校環境化学賞の開催
7. 編集部会
 - ・機関誌「環境化学」発刊、第22巻第2号～第23巻第1号 発行部数各1200部
8. 情報部会
 - ・環境化学情報の収集・執筆・編集
 - ・会員への情報提供、及びホームページでの情報公開
 - ・下期継続は未定
9. 広報・渉外部会
 - ・広報活動及びホームページの維持管理
10. 表彰部会
 - ・2012年表彰式の挙行及び2013年表彰者選考
11. 国際企画部会
 - ・海外交流事業について検討
12. 討論会実行委員会
 - ・第21回環境化学討論会を平成24年7月11日～13日に愛媛県松山市にて開催
 - ・第22回環境化学討論会実行委員会の設置
(実行委員長は東京農工大学の高田秀重先生の予定)
13. 選挙管理委員会
 - ・平成25・26年度評議員選挙
 - ・平成25・26年度役員選挙
14. SETAC委員会
 - ・SETAC Asia Pacific 2012 Meeting Kumamoto(平成24年9月24日～27日)の開催

平成24年度 収支予算書
平成24年4月1日から平成25年3月31日

一般社団法人 日本環境化学会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異(予算-前年)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入				
個人会員会費収入	7,200,000	8,128,000	△ 928,000	900人分見込
賛助会員会費収入	5,440,000	5,680,000	△ 240,000	
公益会員A会費収入	540,000	570,000	△ 30,000	
公益会員B会費収入	440,000	440,000	0	
海外会員会費収入	36,000	36,000	0	
学生会員会費収入	85,000	110,000	△ 25,000	
② 事業収入				
学会誌別刷売上収入	450,000	400,000	50,000	
学会誌広告収入	1,200,000	1,360,000	△ 160,000	
既刊本売上収入	120,000	150,000	△ 30,000	
討論会収入	14,900,000	14,820,000	80,000	
講演会参加費収入	1,200,000	800,000	400,000	
講演会予稿集広告・展示収入	500,000	790,000	△ 290,000	
講演会予稿集売上収入	150,000	48,000	102,000	
③ 著作権収入				
FAX複写著作権	20,000	20,000	0	独)科学技術振興機構
④ 雑収入				
受取利息収入	7,000	10,000	△ 3,000	
事業活動収入計	32,288,000	33,362,000	△ 1,074,000	
2. 事業活動収支の部				
① 事業費支出				
学会誌刊行費支出	3,300,000	3,500,000	△ 200,000	
学会誌発送支出	500,000	550,000	△ 50,000	
学会誌刊行運営費支出	150,000	300,000	△ 150,000	
討論会支出	14,050,000	13,320,000	730,000	
講演会印刷物支出	500,000	400,000	100,000	
講演会通信運搬費支出	30,000	30,000	0	
講演会運営費支出	350,000	250,000	100,000	
講演会謝金・旅費交通費支出	700,000	850,000	△ 150,000	
講演会雑支出	70,000	70,000	0	
公開セミナー支出	200,000	0	200,000	
期首商品棚卸	63,375	0	63,375	
② 管理費支出				
消耗・備品費支出	600,000	700,000	△ 100,000	事務用品含
修繕費支出	330,000	0	330,000	PC・ソフト・LAN保守
通信運搬費支出	330,000	400,000	△ 70,000	
旅費交通費支出	700,000	900,000	△ 200,000	愛媛県2名・通勤費他
会議費支出	180,000	250,000	△ 70,000	幹事会1回・総会1回
事務所費支出	1,350,000	1,750,000	△ 400,000	家賃・光熱費
印刷製本費支出	150,000	210,000	△ 60,000	封筒2種印刷
委託手数料支出	252,000	357,000	△ 105,000	コンサルタント料
雑支出	160,000	150,000	10,000	振込手数料含
表彰関係費支出	100,000	400,000	△ 300,000	筆耕・懇親会招待
福利厚生費	20,000	20,000	0	
法定福利費	396,000	425,000	△ 29,000	社会保険料会社負担分
人件費支出	5,670,000	6,700,000	△ 1,030,000	常勤1名パート3名
租税公課	100,000	0	100,000	消費税
事業活動支出計	30,251,375	31,532,000	△ 1,280,625	
事業活動収支差額	2,036,625	1,830,000	206,625	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出合計	0	18,000,000	△ 18,000,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計	0	0		
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計	0	0		
IV 予備費支出				
当期収支差額	2,036,625	△ 16,170,000	18,206,625	
前期繰越収支差額	29,487,805	25,077,794	4,410,011	
次期繰越収支差額	31,524,430	8,907,794	22,616,636	

幹事会規程(改定)

(目的)

第1条 この規程は一般社団法人日本環境化学会(以下「本会」という。) 定款第56条に基づき、事業の適切な推進を図るために設置する幹事会の職務や運営方法を定める。

(所管業務)

第2条 幹事会は、理事会の付託を受け、次に掲げる業務を所管する。

- (1) 本会の運営・管理に関すること
 - ア 事業計画、予算及び決算に関すること
 - イ 経営管理、財務管理及び会費などに関すること
 - ウ 会員の増強に関すること
 - エ 組織の設置、育成、強化に関すること
 - オ 広報に関すること
 - カ 関係委員会に関すること
- (2) 本会の機関誌「環境化学」、各種刊行物の企画、発行に関すること
- (3) 研究会、講習会等の企画及び実施に関すること
- (4) 環境省、関連団体等との交流及び協力に関すること
- (5) その他、本会の目的を達成するために必要な事業に関すること

(幹事の選出)

第3条 本会の事業を推進するために、60人以内の幹事を置く。

- 2 幹事は評議員の互選により選出する。

(幹事会の構成)

第4条 幹事会は、会長、副会長及び理事とともに各部会の幹事をもって構成される。

- 2 会長は幹事会を主宰する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- 3 幹事会の会務を遂行するため、企画、編集、情報、広報・渉外、表彰、国際企画、地区及び事務局などを担当する部会に正副幹事を置く。
- 4 各部会には理事の中から担当理事を置く。

(委員会等)

第5条 定款第4条に規定する事業目的を達成するため、部会には編集委員会、表彰委員会などの委員会を設置することができる。

- 2 委員会の設置及び廃止並びにその活動は理事会に報告する。

(幹事の任期)

第6条 幹事の任期は2年とする。ただし、再任は妨げないが、部会の活性化を図るため、出来るだけ若い会員の登用をはかる。

- 2 幹事が退任した場合における後任の幹事の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第7条 会議は本会の会長もしくは理事会が必要と認めたときにこれを招集する。

- 2 会議の議長は会長が務める。
- 3 会議には、必要に応じて幹事以外の者を招致して意見を聞くことができる。
- 4 会議は、出席する幹事の過半数をもってこれを決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(付議事項)

第8条 理事会が幹事会へ付託した業務については幹事会で推進し、次回理事会に報告する。

- 2 重要事項は理事会に付議し承認を得る。なお、緊急を要する重要事項については会長及び副会長の了承を得て遂行し、次回理事会に報告して承認を得る。

(規程の変更)

第9条 この規程の変更は、理事会の決議を経るものとする。

附 則

この規程は、平成23年4月19日より施行する。

この規程は、平成23年6月20日より施行する。

この規程は、平成24年4月17日より施行する。

平成24年度幹事会付託事項について

日本環境化学会の円滑な運営を図るため下記の職務を幹事会・各部会へ付託する。

1. 本会の運営・管理に関すること。

- ①平成24年度事業計画と予算案に沿った事業の推進と事業報告案、決算案の検討。次年度の事業計画案、予算案の検討。
- ②適切な経営管理、財務管理の実施。必要に応じた会費とその課題や解決策の検討。
- ③会員の増強の推進とその課題や解決策の検討。
- ④組織の育成強化の推進と必要に応じた組織の設置の検討。
- ⑤広報の推進とその課題や解決策の検討。
- ⑥関係委員会の事業の推進と事業報告の作成及び次年度事業計画案の検討。

2. 機関誌「環境化学」、各種刊行物の発行。必要に応じた新たな刊行物の検討。

3. 研究会、講習会等の実施。必要に応じた新たな企画の検討。

4. 環境省、関連団体等との交流及び協力の推進、その課題と解決策の検討。

5. その他、本会の目的を達成するための必要に応じた企画、立案の検討。

(付託事項の変更)

この事項の変更は理事会の決議によるものとする。

附則

この決議内容は平成24年4月1日から施行する。

2012 年日本環境化学会表彰のお知らせ

2012 年日本環境化学会賞表彰は下記の通り決定されましたので報告いたします。

第 21 回環境化学功績賞

- ① 劔持 堅志 ((財) 岡山県健康づくり財団)
受賞業績「環境化学物質の微量分析技術発展への功績」

第 21 回環境化学学術賞

- ① 橋本 俊次 ((独) 国立環境研究所)
受賞業績「ダイオキシン等有機塩素化合物の高度 GC/MS 分析法普及における貢献」
- ② 渡邊 泉 (東京農工大学)
受賞業績「重金属類に関する生物濃縮を利用した環境汚染モニタリングに関する研究」

第 19 回環境化学論文賞

- ① 『活性炭繊維フェルトを用いた一ヶ月サンプリング法による大気中のダイオキシン類及び PCBs のモニタリング』 Vol. 21, No. 4, pp. 303-311 (2011)
姉崎 克典、山口 勝透
(北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター)
- ② 『中国・北京及び日本・金沢の大気を示す AhR 活性化作用への PAH 類及びダイオキシン類の寄与』 Vol. 21, No. 1, pp. 27-33 (2011)
戸次 加奈江 (Center for Health and the Environment, University of California, Davis)
滝上 英孝、鈴木 剛 ((独) 国立環境研究所)
唐 寧 (兵庫医科大学)
鳥羽 陽、亀田 貴之、早川 和一 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

第 21 回環境化学技術賞

- ① 『電気絶縁油中 PCB 分析における PCN の除去方法』 Vol. 21, No. 2, pp. 141-152 (2011)
石坂 閣啓、上田 祐子 (愛媛大学農学部環境産業科学)、et al.
- ② 『固相抽出法と GC-MS 自動同定定量データベース法による水試料中半揮発性化学物質の包括分析法の開発』 Vol. 21, No. 1, pp. 35-48 (2011)
陣矢 大助、岩村 幸美 (北九州市環境科学研究所)
門上 希和夫 (北九州市立大学国際環境工学部)、et al.

第 21 回環境化学有功賞

- ① 村瀬 秀也 ((有)ゼンユー)
受賞業績「学会活動への多大な貢献」